



令和元年度 第32回 日本最優秀鳩舎賞

一文字ロフト(茨城連盟・茨城東連合会)

令和——新時代の日本——誕生！

令和という新時代を迎え、日本鳩レース界の最高賞「日本優秀鳩舎賞」の規程が大幅に変更。92年から18年まで秋Rも対象レースであったが、19年度から設立当初と同じく春シーズン限定となる。合計10ポイントという点は据え置きだが、R、地区Nが各3ポイント、そしてGP、桜花賞あるいはGNでは「10%内」となり、結果、最高賞のノミネート数は増え、26鳩舎となった。さてその頂点である「日本最優秀鳩舎賞」は、一文字ロフト(茨城東)、黒田哲夫鳩舎(上総)、鹿島成浩鳩舎(武蔵野)というかつての日本一たちによる三つ巴に。黒田鳩舎優勢の中、一文字ロフトが、東日本稚内GN連盟ワンツーを決め、逆転という形で新時代の日本一に輝いた。

5年ぶり
2回目

入賞率合計：0.05550

レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18HA03846	BCW	♂	3,758羽	3位	0.00080
	18HA03625	BC	♂	3,758羽	4位	0.00106
	18HA03910	BCW	♀	3,758羽	41位	0.01091
地区N	18HA03184	BC	♂	3,024羽	16位	0.00529
	18HA03275	BC	♀	3,024羽	22位	0.00728
	18HA03479	B	♀	3,024羽	42位	0.01389
GP	18HA03697	S	♂	1,002羽	2位	0.00200
	18HA03684	BC	♂	1,002羽	3位	0.00299
GN	16HA16107	BCW	♀	266羽	1位	0.00376
	18HA03200	BC	♀	266羽	2位	0.00752

一文字ロフト(茨城連盟・茨城東連合会)

鳩歴：11年 レース歴：11年

鳩舎規模：種鳩150坪・500羽

選手鳩50坪・500羽

主力系統：ニュー一文字系

代表翔歴：東日本稚内GN総合優勝3

回、日本最優秀鳩舎賞2回

日本エースビジョン賞1羽

クラウン賞他

春レースのスタート羽数：

350羽(うち成鳩20羽)

勝因は「鳩」!

「日本優秀鳩舎賞」は、日本鳩レース界の最高賞である。令和という新時代を迎えて同賞の規程がリニューアルされ、年間を春シーズン限定とし、またRgと地区Nは「5%内に各3羽」、GPと桜花賞あるいはGNは「10%内」入賞と変更。19年春シーズンを舞台に熱い戦いが全国各地で繰り広げられ、規程クリアに成功したのは26鳩舎と例年より多い数となった。

そして日本優秀鳩舎賞の頂点にあたる「日本最優秀鳩舎賞」は、一文字ロフト(茨城東)、黒田哲夫鳩舎(上総)、鹿島成浩鳩舎(武蔵野)というかつての日本1たちによる三つ巴決戦となる。結果、平成26年度のザシヨナルチャンピオン「一文字ロフト」が2回目の「日本最優秀鳩舎賞」を射止めた。入賞率は「0.05550」。2位との差は「0.01726」であるものの、前回受賞した時のような先行逃げ切りではなく、最終レースでの逆転劇による受賞である。GP時点で茨城連盟で2番手以下であったこともあり、代表の松平竜也氏は7月号の発表を読み、喜んだ一方で驚きも大きかったようだ。

松平氏曰く、勝因は「鳩」。一文字ロフトはバルセロナIN優勝鳩9羽、

ユーロダイヤモンド、グライツァーといったオリンピックの世界1位鳩を始め各カテゴリーの代表鳩、その他ヨーロッパのIN、あるいはベルギー、オランダのNレースの優勝鳩や関東三大長距離レースのベストテン鳩を揃え、「ニュー一文字系」という世界屈指のコロニーを形成していることは有名な話だ。フットボールの世界で例えるなら、バロンドール(※世界ナンバーワン)のサッカー選手に贈られる最高賞)受賞者のジダン、ロナウド、フィゴ、オーウェンを擁した「リアル・マドリッド」といったところか。まさに一文字ロフトは、鳩界版「ロス・ガラクティコス(※銀河系軍団。00年〜06年に実現不可能なトップスターばかりを揃えたことで付けられたリアル・マドリッドの異名)」! むしろ能力を引き出すために規則正しい管理、そしてGN前には鳩友・松浦邦彦鳩舎の下で関東三大長距離レース、無双状態を作り上げた「訓練のみの調教」を実践していることには間違いない。しかし戦力があまりにも大きすぎるだけに「勝因は鳩」という松平氏の言葉は納得せざるを得ない。

バルセロナフィリップ

ついに覚醒!

注目のポイントゲッターは、過去

に東日本稚内GN総合優勝や日本最優秀鳩舎賞に導いたブリーディングメンバーに「バルセロナフィリップ」が新たに加わった形だ。フランス鳩界史上2羽目となるバルセロナINウィナーであるこの大器は、13年に一文字ロフトに合流。掴めば誰しもが唸るであろうふわつとして軽い肉質をもち、また選手鳩時代に584Kとあって、同ロフトの下でもブリーダーとして着実に実績を重ねていたが、あくまでそれはGP止まり。本命のGNだと17年と18年が未曾有の難レースになったことにより、バルセロナフィリップ自身、歴代最高分速(*1801メートル)でバルセロナを制した「スピード性」、そして体内に秘めるファンブリアーナ系特有の「爆発力」が発揮されずにいたようだ。しかし19年は、通常展開となったことでついに覚醒し、すでに種鳩として大成功を収めているバルビナンクイーン、そして「マルセイユキング」、稚内ファーストウィング「一文字GN1」との組み合わせで当日決戦となった東日本稚内GNを制し、この賞レースの逆転劇に大きく貢献。一文字ロフトは東日本稚内GNにおいて、すでに2回当日総合優勝を果たしている。「バルセロナフィリップ」の孫鳩にあたるGN

ウィナーズリー・タイムズ「一文字GN6」は、一文字ロフトを史上最多総合優勝数に導いただけでなく、「一文字ロフト」GN当日戦「総合優勝」という方程式を決定付けた。

その一方で、Rgの1番手——総合3位鳩も「バルセロナフィリップ」の孫。中距離でもスピード性と爆発力は発揮されている。ともあれ今回の活躍により、「バルセロナフィリップ」は代表種鳩として真の仲間入りを果たしたといつて過言ではない。

GN総合3位の全兄弟が日本エースビジョン賞

その他、際立った活躍を見せたのは、14年に日本最優秀鳩舎賞の受賞に貢献した「稚内ユーロスター」一文字GN3である。「ユーロダイヤモンド」、バルセロナ・キム、バルセロナ・アルド、「バルセロナ・ヴィクトリアII」の4羽で構成された「一文字ロフト」の看板鳩が、4羽のポイントゲッターを輩出し、うち1羽が東日本稚内GN総合3位鳩だ。しかもその全兄弟がなんと日本AP賞を受賞! そもそも「稚内ユーロスター」一文字GN3の父親の配合——「ユーロダイヤモンド」×「バルセロナ・キム」からは、東日本稚内GN総合シングル鳩が1羽、八郷国際鳩舎の国際CH優勝鳩が1羽誕

日本最優秀鳩舎賞受賞のポイントゲッター総覧

★茨城連盟GP1,002羽中総合2位

18HA03697 RC ♂ 一文字ロフト作翔

- ▶ 17HA10156 RC 一文字ロフト作
- ▶ “ドンレオ”(07年バルセロナIN2位・N優勝) × “バルセロナ・ピクトリアⅡ”(10年バルセロナIN優勝)
- ▶ 17HA10404 BCW 一文字ロフト作
- ▶ “フライツァー” × “稚内ユーロスター〜一文字GN3〜”

★茨城連盟GP1,002羽中総合3位

18HA03684 BC ♂ 一文字ロフト作翔

- ▶ 14HA07497 B 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・ラファ”(08年バルセロナIN2位) × “バルセロナ・ピクトリアⅡ”(10年バルセロナIN優勝)
- ▶ 14HA08009 BCWP 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・ランボーⅡ”(04年バルセロナIN優勝) × “バルセロナ・ネリー”(09年バルセロナIN優勝)

★茨城連盟地区N3,024羽中総合16位

18HA03184 BC ♂ 一文字ロフト作翔

- ▶ 13HA00357 BC 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・アルド”(06年バルセロナIN優勝) × “バルセロナ・ヴィクトリアⅡ”(10年バルセロナIN優勝)
- ▶ 13HA00937 BCW 一文字ロフト作
- ▶ “フライツァー” × “ブラックプリンセス”(“カニパール”孫、オリンピアード1位他の全兄弟)

★茨城連盟地区N3,024羽中総合22位

18HA03275 BC ♀ 一文字ロフト作翔

- ▶ 12HA03563 BC 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・アルド”(06年バルセロナIN優勝) × “バルセロナ・キム”(08年バルセロナIN優勝)
- ▶ 15HA03483 BCW 一文字ロフト作
- ▶ 全兄弟/13年茨城連盟地区N1,037羽中総合優勝 “フライツァー”近親 × (“マジストラル” × “プロミス”)

★茨城連盟地区N3,024羽中総合42位

18HA03479 B ♀ 一文字ロフト作翔

- ▶ 13HA01380 BCWP 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・ラファ”(08年バルセロナIN2位) × “バルセロナ・ネリー”(09年バルセロナIN優勝)
- ▶ 15HA02595 B 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・ランボーⅡ”(04年バルセロナIN優勝) × “バルセロナ・ヴィクトリアⅡ”(10年バルセロナIN優勝)

★茨城連盟Rg3,758羽中総合3位

18HA03846 BCW 一文字ロフト作翔

- ▶ 15HA02842 BC 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナフィリップ”(表紙の鳩) × “稚内ユーロスター〜一文字GN3〜”(14年東日本稚内GN2,268羽中総合優勝)
- ▶ 17HA11059 DCW 一文字ロフト作
- ▶ “デン・ポルドー”(07年ポルドーIN最高分速) × “一文字レジョナル2”(10年茨城Rg総合優勝、“デン・ポルドー”の娘)

★茨城連盟Rg3,758羽中総合4位

18HA03625 BC ♂ 一文字ロフト作翔

- ▶ 17HA10181 S 一文字ロフト作
- ▶ “スプレンドィッド・サニー”(08年マルセイユIN優勝) × “ルーシア”(06年KBDB短距離AP賞1位)
- ▶ 16HA16978 BC 一文字ロフト作
- ▶ 全兄弟の仔/16年東日本稚内GN総合優勝
- ▶ “フライツァー” DV01769-03-31 BC
- ▶ 07年オリンピアード中距離部門世界1位、優勝9回他
- ▶ “一文字ナショナル2”BCWP 10年茨城連盟地区N総合優勝 “スーパーダックス” × “ペルピナンクィーン”

★茨城連盟Rg3,758羽中総合41位

18HA03910 BCW ♀ 一文字ロフト作翔

- ▶ 17HA10545 BCWP 一文字ロフト作
- ▶ “フライツァー”(オリンピアード中距離部門世界1位) × “稚内ユーロスター〜一文字GN3〜”(14年東日本稚内GN総合優勝)
- ▶ 14HA07467 BCW 一文字ロフト作
- ▶ “一文字JC3” BC 一文字ロフト作翔 12年JC総合9位 (“バルセロナ・ランボーⅡ” × “バルセロナ・ネリー”) × “一文字ナショナル2”(10年茨城連盟地区N総合優勝)
- ▶ 上記 “一文字ナショナル2”

★東日本稚内GN1,106羽中総合優勝・連盟266羽中優勝 “スリー・タイムズ〜一文字GN6〜”

16HA16107 BCW ♀ 一文字ロフト作翔

- ▶ *同レース1000K地帯優勝
- ▶ 14HA07481 BC 一文字ロフト作
- ▶ “マルセイユキング” DV06720-02-535 BCW プローキャンプ 作翔
- ▶ 05年マルセイユIN13,930羽中優勝 他
- ▶ “稚内ファーストウィング〜一文字GN1〜” 09HA04265 B 一文字ロフト作翔
- ▶ 12年東日本稚内GN2,466羽中総合優勝
- ▶ 14HA07265 BCWP 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナフィリップ”(表紙の鳩) F07-382176 B フィリップ・デュー 作翔
- ▶ 12年バルセロナIN25,348羽中優勝
- ▶ ファンプリアーナ系
- ▶ “ペルピナンクィーン” NL05-1230818 RC
- ▶ フェルテルマン父子 作翔
- ▶ 07年ペルピニャンIN優勝 他



★東日本稚内GN1,106羽中総合3位・連盟266羽中2位 “一文字GN7”

18HA03200 BC ♀ 一文字ロフト作翔

- ▶ 全兄弟/令和元年度日本AP賞全国9位
- ▶ 16HA17482 BCW 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・ラファ” 08年バルセロナIN23,695羽中2位
- ▶ “バルセロナ・ネリー” 09年バルセロナIN27,627羽中優勝 他
- ▶ 16HA15840 B 一文字ロフト作
- ▶ “バルセロナ・アルド” 06年バルセロナIN23,275羽中優勝 他
- ▶ “稚内ユーロスター〜一文字GN3〜” 13HA00066 BC
- ▶ 14年東日本稚内GN2,268羽中総合優勝
- ▶ “ユーロダイヤモンド”のライン



生しており、「アタリからアタリ」という連鎖が起きたということであろう。日本AP賞においては、連盟の力が合わさって「結果的」に受賞できたと捉えているようだが、一文字ロフトにとつてこの配合は大きな発見となったに違いない。

果たして「令和」第1号の日本一となった一文字ロフト。「日本鳩界の黒船」というキャッチフレーズで登場したとあつて、今回の受賞は史上最多の3度目の総合優勝を決めたGNと同じく、日本鳩レース界に新風を巻き起こす——「一文字維新」の夜明けかもしれない。



令和元年度 第32回 日本優秀鳩舎賞・全国2位

黒田哲夫鳩舎(千葉東連盟・上総連合会)



4年ぶり
4回目

入賞率合計: 0.07276

ベストポイントゲッター

千葉ブロック連盟 G P 4,745羽中総合6位・
連盟2,595羽中4位

17LK00734 BC ♀ 黒田哲夫鳩舎作翔



- ▶ 12PE04468 BC 内山勝博 作 直仔/500K総合4位
- ▶ “ヨンゲ・レーザ”
- ▶ NL04-2031678 BC マライケ・フィンク 作翔
- ▶ ペロンヌ42位・48位 “レーザ” (シャンテリー優勝) の直仔
- ▶ NL10-170767 BC P・ファンデメーウ 作
- ▶ “飯塚ヤンセン962・フィリップ”
- ▶ 12DA46190 B 黒田哲夫 作
- ▶ 直仔/“Mr.H1号” (シルバーエクセレントP認定)
- ▶ “飯塚ヤンセン962”
- ▶ 06HA01962 B 飯塚範行 作
- ▶ B06-4310137 B G&Cフィリップ 作

レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18LK02712	B	♂	4,208羽	13位	0.00309
	18LK02643	BC	♀	4,208羽	40位	0.00951
	18LK02541	BC	♀	4,208羽	54位	0.01283
地区N	18LK02608	BW	♂	3,332羽	7位	0.00210
	18LK17831	BC	♀	3,332羽	8位	0.00240
	18LK02629	DC	♀	3,332羽	9位	0.00270
桜花賞	18LK02625	BC	♀	714羽	13位	0.01821
	18LK02716	B	♂	714羽	14位	0.01961
GP	18LK02512	BC	♂	2,595羽	2位	0.00077
	17LK00734	BC	♀	2,595羽	4位	0.00154

19年春の黒田哲夫鳩舎(上総)は、GPまでかなりの好入賞率をマークし、よほどのことがなければ日本最優秀鳩舎賞受賞は間違いない、というのが下馬評であった。しかしここ近年、鬼門となっているのが最終戦の桜花賞。しかも18年には記録0という憂き目にまで遭っている。ゆえに自鳩舎だけでなく、天候までデータをとり多角的に分析。このスタイルが黒田鳩舎を短いキャリアで日本一に導いた大きな要因なわけだが、分析の結果、過去2年が厳しいレースだったため、通常の展開に戻ると予想し、仕上がりを8割程度に抑える。ところがこのアウトトラックは大きく外れ、桜花賞は当日決着のハイスピード戦となった。黒田鳩舎自身、規程の2羽を当日で帰すものの、ベストテン入りならず…。一文字ロフトのGN連

読み違いで無念の日本2位!

黒田哲夫鳩舎(千葉東連盟・上総連合会)

鳩歴: 25年 レース歴: 24年
 鳩舎規模: 種鳩15坪・200羽
 選手鳩11坪・300羽
 主力系統: プロキヤンプ系、
 フェルホルト系、
 ヌーエン&パーセン系
 代表翔歴: 日本優秀鳩舎賞4回うち
 最優秀鳩舎賞1回
 全日本ゼネラルチャンピオン賞5回
 日本エースビジョン賞2羽
 スーパーエクセレントビジョン認定
 クラウン賞
 春レースのスタート羽数:
 182羽(*うち成鳩32羽)

盟ワンツーマもあり、全国2位”での日本優秀鳩舎賞返り咲きとなった。しかし視点を変えれば、8割の仕上がりで総合13位、14位に入賞できたことは、大きな可能性を残したと言って過言ではない。調教方法は変わらぬようだが、距離ごとのスペシャリストを築く“虎の穴”の成果は見られており、ポイントゲッターのほとんどが、各カテゴリーを記した“H(*一松/500K~600K用)、“G(*長生/700K~800K用)、“K(*九十九里/1000K~用)”を冠したトリが種として実績を挙げている。またその一方で「17LK00734」のように5%内に500K以上3回、800K以上2回のゼネラリストも現れており、戦力はより強固なものへと変化している印象だ。

全てが充実されていながらも今回、藤田淳一鳩舎に逆転された12年の悪夢を再び味わう形となった。しかし、このような逆境を乗り越え、日本一まで上り詰めた強き“ビジョンスピリッツ”も備えている。黒田鳩舎は現在、全日本ゼネラルチャンピオン賞に5年連続受賞を果たしていることから、この悔しさをバネに日本一どころか、日本一を超えた日本一——前人未踏の最高賞“オリエンタル・チャンピオン”に輝くことさえも夢ではない。



令和元年度第32回

日本優秀鳩舎賞・全国3位

鹿島成浩鳩舎(東京西連盟・武蔵野連合会)



ベストポイントゲッター

東京西連盟桜花賞160羽中
総合優勝・JC総合20位
"セイコー1号"
17MB01413 B ♂
鹿島成浩鳩舎作翔



3年ぶり
6回目

入賞率合計: 0.07557

レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18MB02623	B	♀	2,140羽	2位	0.00093
	18MB11282	BC	♀	2,140羽	3位	0.00140
	18MB02604	BC	♀	2,140羽	6位	0.00280
地区N	18MB02610	BC	♀	1,380羽	2位	0.00145
	18MB11616	BC	♀	1,380羽	3位	0.00217
	18MB10982	BCW	♀	1,380羽	4位	0.00290
桜花賞	17MB01413	B	♂	160羽	1位	0.00625
	18MB11792	BC	♂	160羽	3位	0.01875
GP	17MB01379	BC	♀	925羽	2位	0.00216
	18MB11023	B	♀	925羽	34位	0.03676

→ B08-5061650 BC ヨス・トーネ 作
"パチエラー"(ラ・ステレーヌProv.優勝) ×
"セドナII"(ナルボンヌIN2位)の異母姉妹
→ B13-5022852 BC ヨス・トーネ 作
"セドナI"(ナルボンヌIN優勝)の孫 ×
"クリアブルー"(シメイ優勝2回、パールジュ優勝)

鹿島成浩鳩舎(東京西連盟・武蔵野連合会)
 鳩歴: 18年 レース歴: 18年
 鳩舎規模: 種鳩50坪・500羽
 選手鳩50坪・500羽
 主力系統: ヨス・トーネ系、
 メールラン系、サブロン系、
 コープマン系
 代表翔歴: 日本優秀鳩舎賞6回うち
 日本最優秀鳩舎賞1回
 日本エースビジョン賞1羽
 地区CH賞全国1位、
 ゴールド賞、シルバー賞
 Rg~桜花賞まで総合優勝
 春レースのスタート羽数:
 508羽(うち成鳩48羽)

国内最大の巨大戦力
 GPの2羽目に泣く...

19年春のスタートが500羽以上と日本最大級の巨大戦力を擁する鹿島成浩鳩舎(武蔵野)は、GPの1番手までは、順調であった。Rg、地区Nはベスト5に3羽GPにおいては連盟2位に輝きながらも2番手は3%台となつてしまひ、日本最優秀鳩舎賞争いから一歩後退。しかし16年度のような逆転劇の再現を狙ひ、桜花賞に挑むと1番手が総合優勝に輝き、2番手も総合3位に入賞。結果を残すも一文字ロフトと黒田哲夫鳩舎の牙城を崩すことは叶わず、全国3位となる。

一発逆転とはいかなかったものの、その戦力はむしろ日本一を獲得したところより充実しているような印象だ。とりわけ「ヨス・ト

ネ系」は、主力中の主力にまで成長し、ポイントゲッターの大半がトリーネの源鳩「SUMO」(*「ナシヨナルI」の筋)のラインだ。その一方で基礎カププルとして鹿島鳩舎が大きく期待する「ミスターペルピナン」(*ランブル種鳩/ペルピニャンIN優勝) × 「ミスマニワン」(*コープマン作翔/サンパンサンN最高分速)も3羽の貢献鳩を輩出し、うち1羽はKBBDB会長賞連盟1位にも選出されている。

他にもコール・デハイデヤン・ホイマンズ、エティエネ・メイランといった世界的レースマンたちの飛び筋も活躍。その一方で、GP連盟優勝を3羽を生み出したゴールデンカププル「ブモニキ」(*ルーテンツ作/ラステレーヌN優勝の父) × B00-3167129(*フロリゾーネ作/ヴィットニユース「娘」)もその威力は今なお健在のようで、前述のKBBDB会長賞連盟1位鳩は、「ミスターペルピナン」 × 「ミスマニワン」とのコラボレーションによる成果だ。

今回は惜しくも日本一の座には就けなかったものの、鹿島鳩舎が誇る巨大戦力の熟成度がさらに増していることあって、20年もトップ争いに絡んでくることは間違いない。



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18LK00939	S	♂	4,208羽	5位	0.00119
	18LK11059	BLKC	♀	4,208羽	14位	0.00333
	18LK11078	B	♂	4,208羽	15位	0.00356
地区N	18LK00924	B	♀	3,332羽	10位	0.00300
	18LK00978	BC	♂	3,332羽	28位	0.00840
	18LK00968	BCW	♀	3,332羽	29位	0.00870
桜花賞	17LK06068	BPW	♀	714羽	5位	0.00700
	18LK11099	B	♂	714羽	15位	0.02101
GP	18LK00915	BW	♂	2,595羽	40位	0.01541
	18LK11088	BC	♂	2,595羽	42位	0.01618

2年ぶり
2回目

入賞率合計 0.08778

かつて東日本C Hを制したことがあるとはいえ、再開1年で日本優秀鳩舎賞の全国2位としてレッドカーペットの上を歩き、周囲の度肝を抜いた小川安都志鳩舎(東金C)。あれから2年、全国4番目の入賞率で再び日本優秀鳩舎賞を獲得した。

振り返りを演じた戦力は、前回と同じく、再開後に集めたヨーロッパの銘血種鳩によつて生み出されたものばかりである。中でも「ハリ」の直仔「ドリームハリ」は2年前の桜花賞総合3位に続き、今回はRgの総合5位鳩を誕生させており、小川鳩舎の新基礎鳩として着実に成果を上げている印象だ。

一方、ポイントゲッターとしては、「17LK06068」に注目。全日本ゼネラルC H賞受賞にも大きく貢献したこの成鳩は、桜花賞で総合5位に入賞しただけでなく、併催のJ Cで総合ベストテン入り! しかもこの1羽はレース鳩の最高賞である「日本A P賞」、トップゼネラリストの称号「スーパーエクセレントビジョン」までも勝ち取った超銘鳩だ。血統もレイナートのグイーゴ、ファンダイクのガニバルの緩やかな近親である上、ヨーロッパの超銘鳩の血まで、いやのみで構成。世界基準のスーパーC Hだと言えよう。

今回2度目の受賞を決めた小川鳩舎だが、目標はあくまで「日本」! 日本最高賞三冠を果たしたとあって、それは決して夢ではない。

再開1年での衝撃、再び!



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18MA05563	BC	♀	2,040羽	7位	0.00343
	18MA05612	BC	♀	2,040羽	8位	0.00392
	18MA05669	BC	♀	2,040羽	10位	0.00490
地区N	18MA05534	B	♂	1,353羽	19位	0.01404
	18MA00540	B	♀	1,353羽	23位	0.01700
	18MA05649	BW	♀	1,353羽	24位	0.01774
	18MA05681	BC	♀	270羽	1位	0.00370
桜花賞	18MA05503	B	♂	270羽	2位	0.00741
	18MA05535	BCW	♀	835羽	7位	0.00838
GP	18MA05539	BP	♂	835羽	9位	0.01078

6年ぶり
3回目

入賞率合計 0.09130

すでに2回の受賞歴を持つ。実績者・柴田茂昭鳩舎(東京南部)が、全国5位で日本優秀鳩舎賞を手にした。地区N以外の規程3レース全てベストテン入りを果たし、桜花賞では総合ワンツー。「総合力は高いが切れ味が物足りない」というかつてのウィークポイントを払拭しての受賞に柴田鳩舎の喜びもひとしおである。

輸入C Hメインで形成されたレーシングチームの中で、今回のナンバードポイントゲッターを挙げるとしたら、自身に4度目の総合優勝をもたらした「18MA05681」だ。桜花賞を制したこの1羽は、ヨーロッパ系の優勝鳩に自鳩舎のRg総合入賞鳩をクロスして作られ、「輸入鳩×国産」という自鳩舎の鉄板式に準じている。また桜花賞総合2位鳩の「18MA05503」と総合優勝鳩は従兄弟同士。この2羽の母方祖父父母「09MA09177 (*モンドマルサンN3位の直仔) × 08LC11403 (カニバル)」の筋は、アタリ配合となるのか、楽しみな材料となつたに違いない。

同鳩舎の日本優秀鳩舎賞ランキングが「10位↓8位↓5位」と着実にステップアップを果たしている。もはや日本——日本最優秀鳩舎賞受賞も射程圏内に入ったといつて良いだろう。

着実にステップアップ



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18KA26367	BC	♂	4,788羽	18位	0.00376
	18KA26346	B	♀	4,788羽	19位	0.00397
	17KA34183	BC	♂	4,788羽	29位	0.00606
地区N	18KA24157	BC	♀	1,964羽	4位	0.00204
	18KA24048	B	♂	1,964羽	11位	0.00560
	18KA24128	BC	♀	1,964羽	29位	0.01477
桜花賞	18KA24015	B	♀	871羽	14位	0.01607
	18KA24277	BC	♀	871羽	17位	0.01952
GP	18KA24153	B	♀	480羽	2位	0.00417
	18KA24138	BC	♀	480羽	11位	0.02292



6年連続
6回目

入賞率合計 0.09888

トリプルシックスのその先へ

全国6位には、日本優秀鳩舎賞連続受賞記録を「6」に更新した奥住豊鳩舎(埼玉中央)が輝いた。全国タイトル獲りを意識して以来、覚醒は続いているようである。

ともあれ盤石の強さを体現したのは、50年以上の歳月を費やし、もはや完成の領域に到達した「管理法」とダワンス、ローセンス、モスキート、フィンクの飛び筋で形成された「オリジナルライン」だ。ナンバーワンポイントゲッターは「17KA34183」。レースの成績だけみれば、GP総合2位や地区N総合4位を選んでいいところをRg3番手であるこの1羽がなぜ1番なのか。それは、**ゴッド**で日本AP賞の受賞を決めたレースだからである。

「ゴッドエース」と名付けられた「17KA34183」は、奥住系の集大成的なCHだ。前述の4系統が看板鳩である「ゴッドR」や「レーザーレジェンズ」、そして日本AP賞全国1位&総理大臣賞全国優勝の「GHエースクイーン」をそれぞれに経由して絡んでいる。果たして、日本優秀鳩舎賞と日本AP賞との二冠に輝いた奥住鳩舎、前者においては、6年連続、6回目、全国6位と「6」が3つ並ぶので受賞となった。20年は史上初の7年連続、を同鳩舎にとつて最高位である6位の壁を突き破って——といきたいところであろう。



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18MA00185	B	♀	2,040羽	3位	0.00147
	18MK07233	BW	♀	2,040羽	9位	0.00441
	18MA00201	BCP	♀	2,040羽	14位	0.00686
地区N	18MA00217	B	♀	1,353羽	3位	0.00222
	18MA00142	B	♀	1,353羽	4位	0.00296
	18MA00184	BC	♀	1,353羽	17位	0.01256
	18MA00227	B	♂	270羽	4位	0.01481
桜花賞	17MA07023	B	♂	270羽	14位	0.05185
	18MA00190	B	♀	835羽	1位	0.00120
GP	18MA00227	B	♂	835羽	2位	0.00240



2年連続
10回目

入賞率合計 0.10074

絶対的記録史上最多受賞「11」!

ゼロ年代の絶対王者の完全復活である。日本最優秀鳩舎賞最多の5回受賞の記録を持つ河原雅基鳩舎(ベイ東京)が、2年連続で日本優秀鳩舎に選出。日本優秀鳩舎賞としても史上最多となる10回目の受賞を全国7位で決めた。

規程4レース全てベストテンに入ったレース陣は、自鳩舎の源鳩「バーラー号(*D&マタイス系)」の一族に異血を絡ませたパターンが多い。19年春の最高成績であるGPの連盟優勝鳩「18MA00190」は、まさにそのパターン。自鳩舎の看板鳩である東日本CH総合優勝鳩「チャンピオンガール(*バーラー号(兄弟の孫)にイエレマの源鳩「ズワルトゴウド」の血統書にも登場する「ゴ・ファンドメーレン」といった銘血を流し込んで作られている。なおこの異血にはヨーロッパの銘血ばかりがセレクトされているようだ。

今回、この最高賞の受賞回数単独首位に立ったことで、国内ナンバーワン鳩舎であることを大きく証明した河原鳩舎。完成された管理と戦力が完全復活した今、日本一&日本優秀鳩舎賞、2つの最多記録は「絶対的」なものとして日本鳩レース界に残るかもしれない。



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18HA10063	BCW	♀	3,758羽	6位	0.00160
	18HA10010	RC	♀	3,758羽	8位	0.00213
	18HA10075	BCP	♂	3,758羽	9位	0.00239
地区N	17HA18210	B	♀	3,024羽	24位	0.00794
	18HA10075	BCP	♂	3,024羽	25位	0.00827
	17HA18201	BC	♀	3,024羽	45位	0.01488
桜花賞	18HA10122	B	♀	354羽	8位	0.02260
	17HA18210	B	♀	354羽	9位	0.02542
GP	18HA10062	BC	♀	1,002羽	7位	0.00699
	18HA10048	B	♂	1,002羽	19位	0.01896

3年ぶり
2回目

入賞率合計 0.11118

茨城連盟の「日本一獲得計画」の体现者の1人といつて過言ではないだろう。東日本C Hのためだけに戦ってきた矢口忠鳩舎(常陸小川)だが、周囲の熱に感化されて16年に日本優秀鳩舎賞を初受賞。ゼネラリストとしての才能を開花させた。そして19年、地区Nで苦戦を強いられながらも、Rg、GP、桜花賞の3レースでベストテンに入賞。結果、全国8位で自身2度目の受賞を決める。

矢口鳩舎の主力系統は、ヤンセン系。といつても東日本C H制覇のために磨き上げた長距離で勝てるヤンセン——「矢口ヤンセン系」である。今回のポイントゲッターは、ほぼこのヤンセンで形成されており、地区N、桜花賞で活躍しK B D B会長賞に選ばれたナンバーワンポイントゲッター「17HA18210」は、「ニュー一文字系」、「デヴォス」が絡みながらも1/2の血量がそれ。他、5羽のシングル鳩もまた「矢口ヤンセン系」で構成されているようだ。

東日本C H一色から全国タイトルを意識したスタイルに切り替えても、反応できたのは、この研ぎ澄まされたヤンセンがあったからこそ。年々、参加羽数が増えている茨城連盟とあつて、かつて東日本C Hを射止めたように、日本優秀鳩舎賞の1番を射止めてしまいかもしれない。

ゼネラリストとして完全覚醒



レース別	鳩番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18HA17366	B	♂	3,758羽	26位	0.00692
	18HA14030	B	♀	3,758羽	49位	0.01304
	18HA14063	BCW	♀	3,758羽	51位	0.01357
地区N	18HA14037	BC	♀	3,024羽	17位	0.00562
	18HA14060	B	♀	3,024羽	21位	0.00694
	18HA14063	BCW	♀	3,024羽	28位	0.00926
桜花賞	18HA14063	BCW	♀	354羽	6位	0.01695
	18HA17370	BC	♀	354羽	16位	0.04520
GP	17HA00106	BC	♂	1,002羽	1位	0.00100
	18HA14057	BC	♂	1,002羽	10位	0.00998

2年ぶり
2回目

入賞率合計 0.12848

大病を患ったことにより、全国タイトル狙いに方向転換をした実力派・飛田輝明鳩舎(茨城北)が、平成29年度の日本一に輝き、レッドカーペットの上を力強く歩いたことは記憶に新しい。あれから2年。今度は全国9位として日本優秀鳩舎賞に堂々振り返った。

実は地区Nを終えた段階では、入賞率のあまりにモロだったというところがGPで総合優勝、自鳩舎2番手も総合10位に入ったことでモチベーションが戻り、全鳩勝負で持ち寄った桜花賞では2羽とも当日帰還！うち「18HA14063」は総合6位に入り、なおかつ日本A P賞の全国1位にも輝いた。

ナンバーワンポイントゲッターは、むろん「18HA14063」である。日本A P賞の規程3レースであるRg、地区N、桜花賞で貢献。系統は主力のジッター(*グロンドラース)ではなく、完全なる異血。とはいえ「カイバ一兄弟」、「ブリュッヘマン兄弟」といった名門血統で固められており、母方にいたっては、飛田鳩舎に初の日本A P賞(*平成27年度)をもたらした強力なラインだ。その一方で本筋の「ジッター」もポイントゲッターに大きく絡んでおり、その最たるものがGP総合優勝の「17HA00106」であろう。

ともあれ、日本優秀鳩舎賞だけでなく、日本A P賞では全国1位を射止めたとあって戦力的にはいつても日本一に振り返ける——という「実力」を大いに見せつけた。

GPからの逆転受賞達成!



レース別	編番号	羽色	性	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	18LK03747	B	♂	4,208羽	3位	0.00071
	18LK07930	M	♀	4,208羽	4位	0.00095
	18LK05358	BC	♂	4,208羽	46位	0.01093
地区N	18LK19885	B	♂	3,332羽	30位	0.00900
	18LK03753	BC	♀	3,332羽	31位	0.00930
	18LK07694	BC	♀	3,332羽	36位	0.01080
桜花賞	18LK05336	B	♀	714羽	18位	0.02521
	18LK03731	BC	♀	714羽	31位	0.04342
GP	18LK19885	BC	♂	2,595羽	15位	0.00578
	18LK03753	BC	♀	2,595羽	44位	0.01696



初受賞

入賞率合計 0.13306

鳩友たちのパワーでキャリアを補完!

レース歴は純粹に5年。その間に、強豪ひしめく千葉東連盟においてベストテン入り20回以上を誇り、300Kと400Kでは総合優勝の経験までもある。新星・平野幸夫鳩舎(東総)が、全国レベルの強豪鳩舎たちを抑え、最後の椅子——全国10位に選出。うれしい初受賞となった。

はれて全国デビューを飾った同鳩舎が使用する戦力は主に地元の飛び筋だ。とりわけ先輩レースマン・鶴見正雄鳩舎(東総)経由で、マルセリスの「スプリント」が当たっており、前述の300Kと400Kの総合優勝鳩はまさにそれだ。

なお地区N、GPの2レースで自鳩舎1番手に帰還したナンバワンポイントゲッターの「18LK19885」は、平野鳩舎が参加する有志の会「鳩舎」の福岡伸明氏作出鳩(「*ゴメル」マシス)重近親)であったが、19年春の最高成績であるRg総合3位鳩「18LK03747」は、鶴見鳩舎経由の「スプリント」ラインである。

このように少ない経験値を鳩友の作出鳩や飛び筋で補ってきたようだが、キャリアをさらに積み上げ、日本鳩レース界のニュースターとして躍り出るかもしれない。未完の大事・平野鳩舎のこれからに注目だ。

日本優秀鳩舎賞の規程をクリアしたヒーローたち

- ・谷藤 隆鳩舎(鹿島連合会)
 - ・松浦邦彦鳩舎(茨城西連合会)
 - ・大月章男鳩舎(新足利連合会)
 - ・新井 繁鳩舎(埼玉北辰連合会)
 - ・小田義光鳩舎(埼玉北辰連合会)
 - ・秋元儀一鳩舎(大千葉連合会)
 - ・鈴木 斉鳩舎(東金セントラル連合会)
 - ・篠原照民鳩舎(成田連合会)
 - ・ピグマリオンロフト(常総中央連合会)
 - ・大沢ファミリーロフト(常北連合会)
 - ・鈿持純一鳩舎(木更津連合会)
 - ・鈴木信義鳩舎(東京南部連合会)
 - ・及川 茂鳩舎(新日本連合会)
 - ・遠藤 宝鳩舎(田子の浦連合会)
 - ・古里治彦鳩舎(京都雅連合会)
 - ・柴田貴雪鳩舎(加賀第二連合会)
- ※会員名簿順

日本優秀鳩舎賞・データ

日本優秀鳩舎賞受賞回数(3回以上)	
10回	奥住 豊 鳩舎(埼玉中央連合会) ↑
河原雅基 鳩舎(ベイ東京連合会) ↑	5回
9回	阿内益雄 鳩舎(元・茨城セントラル連合会)
及川 茂 鳩舎(新日本連合会)	早乙女節夫 鳩舎(ニュー横浜連合会)
8回	横地光彦 鳩舎(静岡県連合会)
藤田淳一 鳩舎(尾北第三連合会)	神谷中鳩舎(元・尾北連合会)
うさぎロフト(茨城北連合会)	大橋憲夫 鳩舎(岐阜県連合会)
7回	4回
高塚久雄 鳩舎(茨日連合会)	神田隆夫 鳩舎(鎌ヶ谷中央連合会)
岩田誠三 鳩舎(元・東海連合会)	吉田三男 鳩舎(東愛知連合会)
石川誠二 鳩舎(川崎連合会)	増田和雄 鳩舎(尾張連合会)
6回	黒田哲夫 鳩舎(上総連合会) ↑
新井 繁 鳩舎(埼玉北辰連合会)	3回
鹿島成浩 鳩舎(武蔵野連合会) ↑	西野宮秀夫 鳩舎(元・日立連合会)
	浅野 栄 鳩舎(鹿島連合会)
	榎竹道夫 鳩舎(元・埼玉連合会)
	中田幸雄 鳩舎(埼玉南部連合会)
	央戸 馨 鳩舎(東金セントラル連合会)
	今田俊児 鳩舎(下総中央連合会)
	永井 勇 鳩舎(新日本連合会)
	小林晴夫 鳩舎(愛知三州連合会)
	加藤正祝 鳩舎(東海連合会)
	海老利明 鳩舎(富山連合会)
	三宅博幸 鳩舎(元・倉敷連合会)
	中村・有田共同 鳩舎(東愛知連合会)
	鈴木 隆 鳩舎(埼玉北葛連合会)
	森川浩吉 鳩舎(上総連合会)
	柴田茂昭 鳩舎(東京南部連合会) ↑